

妊産婦さんへの思いやりを マークにしました

「電車・バス等では、優先して席を譲る。乗降時に協力する。」
「近くでの喫煙は、控える。」「お手伝いしましょうか? のやさしい一言。」など、
妊産婦さんへの思いやりある気遣いをお願いいたします。



このマークは、「健やか親子21」推進検討会において
選ばれた最優秀作品です。

妊産婦さんへの思いやり

妊娠中、特に初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためのとても大切な時期です。しかし外見からは、妊婦であるかどうか判断しにくかったり、「つらい症状」が、ある場合もあります。もしも、あなたの住んでいる街や職場などで、このマークを付けているお母さんを見かけたら、皆さんからの思いやりある気遣いをお願いいたします。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

マタニティマークは、厚生労働省のHPから自由にダウンロードできます。詳しい活用方法や内容についてもこちらをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/03/h0301-1.html>

* 妊産婦の方は、プリントアウトしたものをキーホルダーなどに貼付してご利用ください。

「広がるやさしさ。あなたの街のマタニティマーク。」ポスター掲示にご協力ください!

上記HPよりダウンロードしたポスターを公共機関・職場・お店など人が集まる所などで掲示して頂けるよう協力をお願いしています。また今回の取組のきっかけとなった様々なマークについてもご覧になれます。



健やか親子21は、
2001～2010年の
母子保健の
国民運動です。

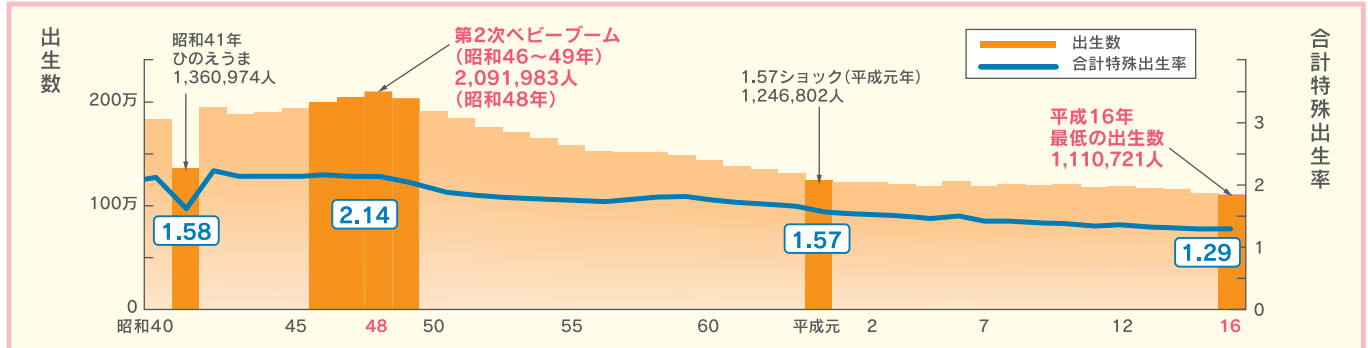
厚生労働省

みんなで作ろう。 未来のお母さんと赤ちゃんにやさしい環境。



深刻な日本の少子化問題

現在、日本は急速に少子化が進行しています。出生数は平成16年に1,110,721人、合計特殊出生率は1.29と、いずれも過去最も低い水準を更新しています。



資料：厚生労働省「人口動態統計」

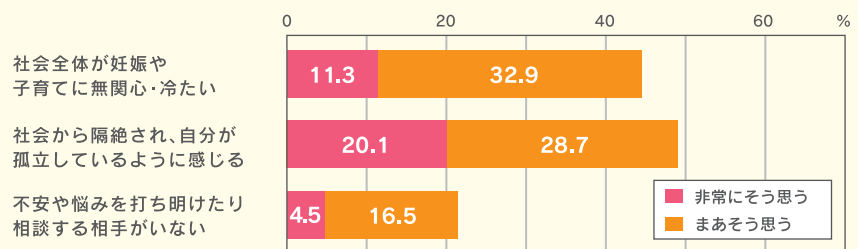
どうしてサポートが必要なの？

〈みんなで応援する子育て〉多くのお母さんたちは、子育て期間中に孤独感や負担感を訴えています。子育てにやさしい社会環境を築くために、皆さん一人ひとりの理解と協力が必要です。

子育て支援と地域の連帯

平成16年の意識調査によると、多くのお母さんは妊娠から子供が3歳になるまでの期間、孤独を感じ子育てを行っています。今後は、気軽に利用できる子育て支援センターなどの整備とともに、周りの人たちがいつでも暖かい手をさしのべる、お母さんと赤ちゃんにやさしい街づくりが求められています。

妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査)



多くの母親が孤立感の中で子育てを行っている

資料：(財)こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答1069人)

どんなサポートが必要なの？

〈みなさんへのお願い〉妊娠中、特に初期のお母さんは、妊婦であるか判断しにくかったり、「つらい症状」がある場合もあります。あなたの住んでいる街や職場などで、妊産婦さんはもちろん子育て期間中のお母さんを見かけたら、皆さんからの思いやりある気遣いをお願いいたします。

妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査)

外出先で困ること、周りの人たちに手助けしてもらいたいこと。



- 1位 階段の上り下り/エレベーターやスロープがない/段差が多い(225人)
- 2位 バスや電車内で席を譲ってもらえない(93人)
- 3位 歩きタバコ/タバコの煙/禁煙対策が遅れている(66人)

外出先で手助けされたり、勇気付けられたりして嬉しかったこと。



- 1位 バスや電車で席を譲ってくれた(205人)
- 2位 ベビーカーを運んでくれた/たたんでくれた(183人)
- 3位 子供をあやしてくれた/話かけてくれた/見守ってくれた(121人)

資料：(財)こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答1069人)

未来のお母さんと赤ちゃんをみんなのやさしさをサポートしましょう!

